

DAFS 景況感アンケート（2022年9月実施）

	6月	9月	先行
受注	84	35	△26
在庫	△5	26	26

（ポイント：％）

【概況】

受注は下降気味となっているが依然好調。

在庫は入手困難な部品の不足感は継続している。一方、先行手配品の入荷が始まっている。

【アンケートご回答各社コメント】

- ・半導体は入手困難なものや LT の改善傾向にある物の二極化が出始めている。各顧客は市場品の入手を行っていた為、改善傾向にある部品はモノ余りのリスクが大きくなってきている。
- ・在庫は長期納期の製品の買い込み、VMI の増加による増加傾向。
- ・在庫状況（現状）は、品種により在庫状況が異なる（有るものは十分有り、無いものはなかなか入荷されず不足継続）
- ・円安で、客先に為替分を乗せることが出来なく、利益率が悪くなっています。
- ・先行手配品が入荷し始めたが客先の以前の納期で延伸依頼が増えてきた。どうやら主要部品がまだ入手できず製品の生産ができない模様。

【調査要項】

1. 実施期間：2022年9月15日～9月30日
2. 調査対象：DAFS 会員（正会員、賛助会員）
3. 回答数：23社（回収率 54.8％）
4. 調査方法：会員向けメールにて依頼、Web 回答
5. 分析方法：DI（Diffusion Index）

受注 DI 値（9月） = （良い／やや良い） - （やや悪い／悪い）

受注 DI 値（先行） = （上昇） - （下降）

在庫 DI 値（9月） = （過剰／過剰気味） - （やや不足／不足）

在庫 DI 値（先行） = （過剰） - （不足）

※次回調査は12月を予定しておりますのでご協力をお願い致します。

以上